

## 問題【英語】

例題のように、意味をもとにしながら、与えられた単語を二つの単語に分解してください。

例題：mansplain(男性が女性より偉そうな感じで説明する) = man + explain

(1) brunch (朝食と昼食を兼ねた食事)

= ( ) + ( )

(2) Eurasia (ヨーロッパとアジアを合わせた地域)

= ( ) + ( )

(3) spork (スプーンの先がフォークの形になったもの) = ( ) + ( )

(4) smog (大気汚染物質が作る煙や霧)

= ( ) + ( )

## 豆知識 雑学コラム

## 英語の新語、どうできる？

数年前、「ブレグジット(Brexit)」という言葉がニュースで頻繁に使われていたことを覚えているでしょうか。イギリスがEUを離脱することを指す言葉ですが、この Brexit という単語は以前から存在していたわけではありません。EUの離脱が争点となったときにできた、とても新しい英単語です。

日本語では新しい言葉を作るときに、元々の言葉を省略したり、言葉の一部を変えたりしますね。最近の例では、「三密」は「三つの密」を省略して作られた新語です。英語の場合は、二つ以上の言葉の一部をつなげて新しい言葉を作ります。このようにしてできた言葉をかばん語(portmanteau word)と言うのですが、聞いたことはありますか。Brexitという言葉もかばん語で、Britain (イギリス) + exit (出る) です。かばん語の場合、その単語の意味は合わせる前の二つの英単語の意味を合わせたものになります。

例題にある mansplain は比較的新しいものですが、brunch や Eurasia は ブランチ、ユーラシアとカタカナで見たことがあるのではないのでしょうか。spork は日本語では「先割れスプーン」といいますが、大人の方であれば「給食の時のスプーン」といえばどういったものかすぐにイメージできると思います。「給食のスプーン、先が割れてないよ」という方は、親に絵を描いてもらいましょう。

他に「ブログ(blog)」や「インターネット(Internet)」は日本でも浸透しているかばん語です。これらはそれぞれ web (ウェブ) + log (日記)、international (国際的な) + network (ネットワーク) となっています。英語で顔文字を意味するemoticonも、emotion (表情) + icon (アイコン) というかばん語です。

今回はかばん語を分解する、というちょっとしたパズルをやりました。次は、自分でかばん語を作ってみましょう。何が使えるかな、と自分で興味を持って単語を調べていると、英単語も自然と覚えられます。

## 【解答】

(1) breakfast + lunch (2) Europe + Asia (3) spoon + fork (4) smoke + fog